

令和4年度 第1回生駒市社会教育委員会議録（要約筆記）

1 日 時 令和4年7月26日（火）午前10時～午前11時45分

2 場 所 生駒市コミュニティセンター 402・403会議室

3 出席者

（委員）大谷裕美子委員（議長）・吉川祐一委員（副議長）・岩本博子委員・
浦林直子委員・大辻哲男委員・岡島保弘委員・岡本純子委員・神田貴司委員・
清水泰之委員・土本みさ子委員・中嶋宏明委員・
松尾正則委員・連靖和委員

（事務局）原井教育長・八重生涯学習部長・清水生涯学習課長・
井川生涯学習課長補佐・西野図書館長・錦図書館課長兼北分館長・
谷江図書館南分館長・入井駅前図書室室長・西スポーツ振興課長・
和田生涯学習課主幹兼生涯学習係長

（欠席者）上武敏一委員

（会議の公開・非公開） 公開

（傍聴者）あり

4 議事内容

○ 教育長挨拶・委員紹介・事務局紹介

○ 審議案件

（1）議長・副議長の選出について

全会一致で、議長は大谷裕美子委員、副議長は吉川祐一委員に決定。

（2）社会教育委員の業務について

配布資料に沿って事務局から説明

（3）令和3年度「社会教育基本方針及び重点目標」にかかる実績報告について

（4）令和4年度「社会教育基本方針及び重点目標」について

（3）と（4）をあわせて事務局（生涯学習課→図書館→スポーツ振興課）
から説明

（5）その他

■（3）（4）の重点目標や事業の説明についてのご質問やご意見

大谷委員 ユニバーサルキャンプと小学生向けの茶道体験授業は令和4年度も中止する
とのことだが、今後、コロナの状況が良くなれば復活するのか？方向性を教
えてほしい。

事務局 コロナの感染状況が落ち着けば、復活させたいと考えている。ただし、ユニ
バーサルキャンプについては、キャンプ以外の事業形態も視野に入れて内容
を再検討する必要があると考えている。

中嶋委員 8月21日開催予定のIKOMAサマーセミナーについて、講座数が前回の17講座から31講座に増えるとのことであるが、講座数を増やすことができた経緯と集客の方法を知りたい。

事務局 広報やHPの告知に加えて、市民で組織する実行委員会のメンバーの方たちによるSNSでのシェアや口コミ、個別の声掛けも行い講座数を増やした。集客についても、広報やHPはもちろん、実行委員によるSNSシェアや口コミ、そして先生となっていただく方にもチラシやパンフレットも配布し、先生方からの直接のPR等により集客に向けて取り組んでいる。

中嶋委員 コロナによる中止とならないように対策をお願いしたい。

浦林委員 寿大学について、入学希望者数が減少してきている。気らくネットの紹介もあったが、卒業後の活躍の場や卒業後のビジョンの提示が少ないことが原因のひとつではないか？せっかく健康で意欲ある人材を活かすために、これまでの取り組みに加えて、より踏み込んで寿大学で学んだことやそれまでの経験を活かせるような卒業後の活躍の場を提示してはどうか？たとえば、個人的な意見になるが、ららポートを通じての有償ボランティア人材バンクを立ち上げてはどうか？有償でもボランティアが欲しいというニーズにも対応できる。

事務局 寿大学の学生さんは何かボランティアなどの社会貢献をしたいと思われている方も多いが具体的に何をしたらいいのかがわからないということもよく聞く。現在、カリキュラムの中でボランティアとしてどんな活動がしたいかを考える講座をしたり、昨年度はコミュニティスクールについての講演も聞いていただいた。学校と地域とが連携したこのような活動があることを初めて知ったという方も多く、具体的な活動の提示のひとつになったかと思う。卒業生の中には気らくネットで活躍されている方もおられるが、今、いただいたご意見を踏まえて、さらに活躍の場が具体的にイメージできるよう、ららポートの紹介をさせていただくなど、学生に対してより積極的な働きかけをしていきたい。

岡島委員 生涯学習施設のオンラインの環境整備について、たけまるホールの大ホールでのライブ配信を可能とする機器の設置状況を確認したい。有線LANの設置で止まっているのでは？

事務局 令和3年度の予算執行で、たけまるホールだけでなく、北・南コミセンとコミセンの各大ホールにライブ配信が可能な機器の設置を完了している。機器の操作が難しいため、施設にてオペレーターを有償で手配してもらう必要があるが、誰でも活用していただける。

※ 図書館、スポーツ振興課からの説明に対する質疑はなし

■ (5) その他（事務局からの事務連絡）

事務局 今年度の会議運営について、令和3年度第2回の会議で意見のあった教育委員の方々との情報や意見交換の場を本年度は設けたいと考えている。今年中には開催できればと思うので、時期は未定ではあるが10月か11月の開催を想定している。ついては、どのようなテーマでの意見交換がよいか、8月中を目処にご意見を事務局にお知らせいただきたい。

議長 社会教育を進めるにあたり、社会教育委員同士の横のつながりが必要と考えている。しかし、これまでの会議運営においては、各委員個人や所属団体の活動内容を知る機会がほとんどなかった。そこで、相互理解のために所属団体や委員個人の活動紹介をA4用紙にまとめて8月末までに事務局に提出いただくようご協力をお願いしたい。お互いの所属団体と個人の活動を知ることが社会教育委員同士のつながりづくりにもなり、教育委員の方との意見交換にも役立つと考える。

清水委員 議長の提案に賛成する。社会教育委員会議で学んだことを地域で実践したい。社会教育委員相互の理解が教育委員の方々との意見交換の前提となるものと考えている。コミュニティスクールが設置されたことで、地域と学校の連携がまさに今、とても重要視されている。また、地域の教育力が大切になっている。社会教育と学校教育、地域の教育力と学校を結びつけることが重要となる今の状況下で、教育委員、社会教育委員の垣根を越えて、また、地域活動の実践者として意見交換できることは、大変ありがたい機会であると考えている。

事務局 9月2日開催の社会教育研究大会への参加について、改めての参加希望の有無について確認。

閉 会